

2014年10月31日
神戸市外国語大学
学長 船山 伸他

本学元教員の研究活動における不正行為に関する学長声明

本学に在籍していた教員が研究活動における不正行為を行っていたことが判明し、誠に残念であり、遺憾に思います。ここに関係各方面に対して深くお詫び申し上げます。

本来、研究者は本人の倫理観と良心、誠実性をもって研究・教育にあたることを前提としております。しかし、今回の事案においてそれが問われることになったことを大学として深刻に受け止めなければなりません。また、本学が当該元教員のキャリア形成の一端を担ってきた大学であったことは痛恨の極みであり、事態を重く認識しています。

本学として、今後二度とこのような不正行為が行われないよう、原因を調査・検証し、全学的な防止体制を整えて行かねばなりません。研究活動における不正行為は、到底許されるものではありません。文部科学省、日本学術振興会などの示す研究不正に対する指針も踏まえ、規程・体制の網羅的な構築、研究倫理研修、種々の啓発活動などを通して倫理意識のさらなる徹底を図り、不正行為を抑止する環境整備を進めてまいります。